

超党派フリースクール等議員連盟会長 / 元文部科学大臣 / 元内閣官房長
官 河 村 建 夫 議員



安倍首相は施政方針演説で、個性を大切にする教育再生として「子どもたちを踏まえ、フリースクールの子どもたちへの支援を拡充し、自信を持って学んでいける環境を整えます」と話されました。一昨年 of 所信表明演説では「多様な学びを国として支援していきます」と安倍首相が話され、法案の準備が加速した経緯もあります。

教育に、今、多様かつ重要なニーズがあります。その声に耳を傾け、応えていくべき時です。学習障害、フリースクール、ホームスクーリング…。賛成、反対、いろいろな意見もあって当然です。忌憚なく議論し、最善の法案を忍耐強く作っていただければと思っ私どもは 21 回あまりの議連を重ねてきました。感謝な

ことに、先の国会にて、「教育機会確保法」として可決成立を賜りました。

この過程において、チア・にっぽんは、広い国際的な絆と卓越した企画・取材力をベースに、積極的な提案を私たちに寄せてくれました。17年に亘るチア・にっぽんの献身的な活動は時代を先取りし、家族・教育の在り方へのチャレンジに満ちたもので、大変、参考になりました。私からは「17年間、これほどの活動、よく頑張ってくれましたね」とお伝えした次第です。

「教育機会確保法」は、3年後に改正される予定になっています。教育環境の整備を進めるために、様々な角度からの視点・情報取材し、ドキュメンタリーとしてまとめた、チア・にっぽんマガジン 44号『特集 続・多様な教育をめぐる教育機会確保法案—その後の240日間の舞台裏』を推薦します。